

学校 教育 目標	あいさつから始まる「思いやり」「団結」「けじめ」の心を持つ生徒の育成 1 「お互いの生き方を認め合い、思いやりを持った豊かな心を育みます」(徳・体) 2 「自ら課題を見つけ、判断し、解決する力を高めます」(知) 3 「社会の一員としての役割を自覚し、共に生きようとする姿勢を大切にします」(公・開)				
	創立 44 周年	学校長 松岡 秀彦	副校長 真田 隆広	3 学期制	一般学級: 10 個別支援学級: 3
学校 概要	児童生徒数: 395 人 主な関係校: 飯島小学校 千秀小学校 豊田小学校 小菅ヶ谷小学校 西本郷小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	飯島中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力・コミュニケーション能力> <課題発見力および行動力> <公共心と社会参画力> <情報活用能力>	飯島中学校 飯島小学校 千秀小学校	自分を認め、社会とつながり行動できる子 ・コロナ禍で停滞しているブロック間の交流や活動を活性化し、9年間の連続性を意識したそれぞれの教育活動を構築する。 ・小中ブロックで活動する様々な場面で目指す子ども像を確認し、それぞれの発達段階に応じた意図的な経験や成長の機会を増やす。

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の定着を目指した取組を継続するとともに、生徒が協働しながら学びを深める授業づくりを推進し、主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ・特別活動の工夫やその他教育活動全般を通して、コミュニケーション能力を高め、自分や他者への理解を深める。さらに、生徒が自ら判断し、行動する機会を増やすことにつなげていく。 ・保護者、地域との多様な連携を推進し、全教育活動を通じた道徳教育、人権教育を充実することで、地域や社会への理解を深め、共に生きる力を育てる。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 学習指導	①基礎学力の向上と学習習慣の定着を推進する。②授業改善・学習評価に関する研究のさらなる充実。 ③校内授業研究(年2回)の実施と小中合同研究会の実践。 ④ChromebookやiPad等のICT機器の活用を推進する。
担当 学習指導部	
徳 道徳教育	①様々な機会を捉えて話し合い活動を充実させ、主体的に自己を深く見つめ、よりよい生き方を求めようとする心を養う。 ②道徳の授業を充実させ、各教科、総合的な学習の時間、特別活動との連携を強化する。
担当 学習指導部	
体 健康教育	①「たばこ」「アルコール」「薬物」など、生徒の健康を害するものについて学び、成長と共に健康な体づくりを意識できるように教科横断的に取り組んでいく。 ②委員会活動を通して、食事や体づくりの意識づけを行い学校全体での向上を図る。
担当 保健安全指導部	
公 開 自分づくり教育	①行事や各学年の課題など、様々なツールを活用し、話し合い活動を充実させ、人間関係を形成しコミュニケーション能力を高める。②生徒会や学級の組織の中で自分の役割を自覚して活動する過程において、主体的に取り組む態度を育てる。
担当 特活指導部	
いじめへの対応	①校長のリーダーシップのもと、専任教諭を中心にSCやSSW等を積極的に活用し、関係機関とも連携できる生徒指導体制を構築する。最近の生徒の様子・課題等の情報交換をいじめ防止対策委員会で行い、未然防止や抑止につなげていく。②生徒の特性を捉え適切な支援を行うための特別支援教育に関する研修を行う。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①コンプライアンス・生徒指導・危機管理などテーマごとに研修等を実施し、教育公務員として資質を向上させる。②学年会において学年主任・副主任を中心として経験の浅い教員を育成する。③教職員が研修内容を自ら検討し研修に参加できるよう環境を整える。④働き方改革の視点から、学校や教員の担うべき業務の適正化や合理化について検討、改善を図る。
担当 管理職・教務	
生徒指導	①学校教育目標を達成するために必要な校則の見直しと運用を行う。 ②生徒に対する各種アンケートや教育相談の充実を図り、生徒の悩みなど早期発見・対応を図る。
担当 生徒指導部	
特別支援教育	①生徒一人ひとりの特性に応じたインクルーシブ教育を推進する。 ②特別な支援が必要な生徒の指導・支援について研修会を持ち組織的な取組を推進する。 ③特別支援教室の充実を図る。
担当 特別支援教育コーディネーター	
学校図書館教育	①学校司書と教科担任の連携を推進し、授業の充実と生徒の学力を向上させる。 ②学校司書と学校図書館担当の連携の充実により、学校図書館の活用を推進させる。 ③図書委員会による小中交流活動(読み聞かせ等)を工夫して行う。
担当 学習指導部	
情報教育	①端末利用を通して生徒のICTリテラシー向上を推進する。②ICT機器を利用した表現活動において、相手意識・目的意識を明確にし、生徒が主体的に学習に取り組む態度を育む。③学校と家庭間におけるオンラインでの情報発信、連絡システムを構築しペーパーレス化を推進する。
担当 学習指導部	